

## 平成24年 第15回 教育委員会定例会議事録

招集日時 平成24年11月22日(木曜日) 午前10時開会/午前10時50分閉会  
招集場所 加賀市市民会館3階 教育長室  
出席委員 上田政憲、石橋雅之、酒谷百合子、畑中直子、旭直樹  
会議列席者 掛山事務局長、宮本次長兼学校指導課長、中矢次長兼九谷焼美術館副館長、梶谷教育庶務課長、

梶谷課長 平成24年第15回教育委員会定例会開会宣言  
本日の審議事項は2件でございます。昨日、石橋委員長が任期満了となりまして、それに伴いまして新たな委員長を選出しなければならないということでございます。教育行政の組織及び運営に関する法律に基づきまして、審議をいただきたいと思っております。よろしくお願ひいたします。

石橋委員 互選でしたね。

梶谷課長 一応、選挙ということになっております。

石橋委員 基本的には自薦、他薦でしたか。

掛山局長 去年は推薦をされておりました。

石橋委員 昨日で教育委員長の任期を終了いたしました立場から一言申し上げたいと思っております。トータルで4年間、教育委員長を務めさせていただきまして、昨日の問題も含めて一区切りしたという気持ちもございまして、新しい委員長さんにご就任いただきたいと思っております。つきましては、上田委員さんに委員長に就任していただきたいというふうに私は思っておりますので推薦いたします。

梶谷課長 他の委員の方のご意見はどうでしょうか。

酒谷委員 賛成です。

梶谷課長 では、ただ今推薦がございましたので、上田委員さんに決定してよろしいでしょうか。

上田委員 委員長の重責というのは本当に大変なものだなとこの一年でつくづく感じましたし、4年間も務められた石橋委員長さんは大変な思いをされたと思っております。力不足ですけれども、精一杯頑張っていきたいと思っております。よろしくお願ひいたします。

全委員 よろしくお願ひいたします。

梶谷課長 では互選ということで上田委員さんを委員長に決定させていただきます。それでは早速ですけれども、上田委員長さんの進行で教育委員長職務代理の選出をお願ひいたします。

上田委員長 今のご案内のとおり、委員長職務代理の方も互選で選出しなければなりませんので、ご推薦があればお願ひいたします。

酒谷委員 委員長を4年間お務めになられて本当にご苦勞様でございますけれども、ぜひ職務代理に石橋さんをお願ひしたいと思うのですが。

上田委員長 ただ今、酒谷委員の方から石橋前委員長に職務代理のご推薦がございましたが、いかがでしょうか。

全委員 お願いいたします。

石橋委員 それではご指名でございますので、お受けさせていただきます。よろしくお  
願ひします。

全委員 よろしくお願ひします。

上田委員 これで終わりでしょうか。

梶谷課長 審議事項はこれで終わりなんですけども、その他ということで事務局の方  
から連絡がございます。

宮本次長 学校指導課から一つご連絡とお願ひを申し上げたいと思います。封筒の中  
にもありまして同じ内容ですけども、前回の教育委員会的时候にもお願ひ申し  
上げましたが、12月3日に校長研修会がございまして、午後の部で校長さん  
方は自分達で教育問題研修会というのを開き、教育問題懇談会を開いてらっ  
しゃいます。それで年1回は教育委員の皆様方と懇談したいと申し出ていら  
っしゃいました。時期的に見まして、新しく就任された方々にとっては突然  
で申し訳ないのですけども、中々日が取れなくて12月3日でお願ひしたい  
という申し込みがありました。それで、お伺いをして受諾していただければ  
と思いますけども、内容等についてはここに書いてありますように、教育委  
員の皆様方から5分程度、このテーマじゃないといけないということはない  
ですけども、それぞれの立場でそれぞれの経験に基づき教育に関して、担当  
校の校長さんとグループになって少し懇談をしたいという申し入れでござ  
います。担当校については、以前から委員をされている方はそのままという  
ことで、畑中新教育委員におかれましては小林前委員の担当校を当てさせて  
いただいておりますのでよろしくお願ひいたします。

旭教育長 12月3日の何時からですか。

宮本次長 14時30分からです。

旭教育長 午前中は校長会があるんですね。この会には私は出ないわけですね。

宮本次長 はい、4人の教育委員の方です。毎年やっているものです。全体の会を最初  
にしまして、その後グループで行います。昨日も石橋前委員長からももう少し  
テーマを絞ってくれないかというお話もあったので、次回についてはもう少し  
絞っていくということですが、例えばいじめ問題と急に絞ると専門的な部  
分も出てくると思います。今回は新しい委員の方もおいでますし、お互いに  
知っていただいて、地域の様子なんかも色々質問していただくのも一つだ  
と思います。

石橋委員 一つ質問いいですか。校長会は毎月やっておいでますね。

宮本次長 そうですね。毎月以上やっていますね。

石橋委員 なぜ12月3日なのですか。前はもっと早い時期もありませんでしたか。

宮本次長 本来なら9月か10月を予定していたんですけども、校長会は研修するカリ  
キュラムを組んでいるんですね。その中で企業に行ってみようとか、いろ  
んなことをやっている中で校長会さんの方で自分なりに計画を立てたんで  
すけども、そのときに教育委員さんの任期をご覧になられて新しくなられる

委員さんとお会いしたいというおつもりで計画されたようです。

石橋委員 全く逆で、新しくなられた方は何もわからないままいきなりこの会はプレッシャーを感じるのではないかと思います。せめて1年経ってからの方がいいのかなとこちらとしては思うのですが。

旭教育長 校長会でこういう意見があったということ伝えていただければいいと思います。

宮本次長 4月当初に決めてもらいますので、年間計画をそのときに決めてもらわないといけませんね。

旭教育長 教育長になったときもそうでした。自分の考えを述べなければならぬところが多く周りにフォローしてくれる人もいないし、これはなった以上は覚悟してやるしかないという気でいましたけど、言われるように時期をもうちょっと考えてもいいかなと思います。ただ、どうしてもできなければ仕方ないですけど。

石橋委員 当然、今日言って明日委員になるわけじゃないですし、1~2ヶ月前に打診があることが多いでしょうから、それなりに勉強する時間があるだろうと言われればそれまでなのですが、現実には委員になってみないとわからない情報が山ほどあります。情報公開で、ホームページを見ればそのうち出るようになるのかもしれませんが、今の段階では難しいのでそんなことを思うとせめて半年以上経ってからの方がいいのかと。現場のトップの方々と話すわけですから、ある程度の思いを持った上でないと話しづらいのではないかと、個人的にはかわいそうだと思うんです。ぜひその辺をご考慮願えないかと私は思います。

宮本次長 今後のためにも校長会で伝えておきます。申し訳ございません。

梶谷課長 それでは早速ですが、新メンバーとしての第1回の定例会を今月末に懇親会を兼ねて開催したいと思います。もう一つは市長との昼食会を予定しておりましたので、その後に定例会というかたちをとりたいと思います。

掛山局長 私からの提案ですけども、昼食会、委員会、歓送迎会というのはちょっと大変だと思うので、歓送迎会は別にしてはどうですか。

梶谷課長 わかりました。では先に昼食会ですけども、今のところ市長の日程が空いているのは選挙前の13、14日ですがどうでしょうか。

旭教育長 どちらかの昼ということですね。

梶谷課長 はい。他は本会議や委員会が入っていますので。

旭教育長 畑中さんがいないのであれば他の日で、昼だけなら他に空いていませんか。

梶谷課長 また明日確認してみます。

旭教育長 12月くらいに適正規模の勉強会をもう1回開催していただけると大変助かります。

旭教育長 今回、いじめ訴訟問題があったもので棚上げになっていたんですけども、12月末までに、市長に教育委員会は学校統廃合・適正規模・適正配置についてこのような考えを持っていますということを出しておかないといけない。

石橋委員 校長会の日は3時半に終わってからそのまま勉強会にできないんですか。  
掛山局長 かまいません。では、校長会が終わった後に30分休憩を入れて4時から勉強会をさせていただきます。

石橋委員 その後、歓送迎会という段取りなら比較的スムーズにいきますね。  
梶谷課長 市長の日程を確認しました。空いているのは17、18、20、21です。  
畑中委員 すみません、私23日まで留守にしているんです。  
梶谷課長 25、26、27も空いています。  
石橋委員 どちらにしても早い方がいいですね。  
梶谷課長 では25日に決定します。  
石橋委員 学校の適正化の市長に対する答申というか、出すのはいつ頃と考えておられますか。

掛山局長 勉強の途中で一度こういう考えだと出せると思います。最終的には年が明けてからでもいいと思います。

石橋委員 それをきちんと教育委員会の意思として決定するのであれば、きちっとした委員会にかけないといけないでしょ。だから25日で間に合うのかなと思っただけで。

掛山局長 勉強の経過で、今の段階ではこういう考えで、こういう結果でまとめようですと報告するのはどうですか。

石橋委員 途中経過報告ですか。  
旭教育長 議会で報告するわけではないですから。ただ、我々の意見はこうですとはっきり明示しないとイケない。それで年が明けたら公表するかしないかは市長のゴーサインが要ります。

掛山局長 多分公表はされないと思います。実は昨日の話で市長は地産地学とおっしゃられているんですけども、その中で適正規模を議論すればいいというスタンスが少し広がった。もう一回議論する時間が増えたというふうに私は思っております。

旭教育長 その辺のバランスがまだわからない。ただ、後でまた言いますが、菅谷小学校は来年入学がゼロの予定だったのが一人、それから黒崎小学校もゼロの予定が一人帰ってきた。だから入学式はできるかなと。一人の入学式はマスクミが飛びつくと思います。一応学校、地域としては胸をなでおろしているだろうと思うのですが、現状はやっぱり待ったなしというか、教育委員会として早くサインを出してあげた方がいいと思うんです。当然もめますよ。保護者は悲鳴をあげているのが現状なんです。教育委員会として教育的観点からの方針を出しておかないといけない。

掛山局長 12月は10時から2時間させていただいて、その後みなさんは市長と昼食に臨まれますので、そこでまた少しお話していただければと思います。

旭教育長 そしたら、そこで適正規模・適正配置の問題と文教ゾーンの問題を2時間あればできますか。

掛山局長 文教ゾーンはまだ教育事務局としての原案すら思案中の思案ですので。

旭教育長 　それこそ検討会にかけるべき。だけど、適正規模・適正配置については地元の問題ですから。10時半でもいいのではないですか。

掛山局長 　諸々とありますので、10時でお願いします。

旭教育長 　では12月25日10時から定例会ですね。

掛山局長 　お願いします。

旭教育長 　これで大体の日程は決まりましたね。

梶谷課長 　はい。

旭教育長 　昨日も石橋委員長さん、本当にありがとうございました。加賀市教育委員会として4年間にわたり、損害賠償請求事件を一区切りつけたのではないかと思います。今朝方も北澤前教育長さんが来られました。北澤教育長さんのときの問題であったので、「ご迷惑をお掛けして申し訳なかった、ありがとうございましたと、適切な判断を下していただいて大変感謝しております。」と言っておられました。皆さんによろしくお伝えくださいということでした。市長さんにも前教育長さんが来られたことを先ほど報告しました。それはそれで私もありがたいし、事務局も随分頑張ってくれて何とか乗り切れたかなと思っているんですけども、残念なことに我々の決定したことがスクープされて昨日の北國、北陸中日の朝刊に載ってしまいました。昨日全員協議会があったわけですから、そこで公表し、その後記者発表となるので普通であれば今朝の新聞に載るはずなんです。新聞記者はスクープするのが仕事ですから仕方ないのですけども、あれは絶対に洩れてはならない情報なんです。我々だけの問題ではなくて、まだ被告側がどうするか迷っている、原告側もわからない段階で出すと、703万円とはいえ公費を使って賠償するわけですから、これは市民に対する説明責任も要するんです。本当を言うと議会を開かないといけないんです。それを専決処分ということで決定して公表する予定であったものが漏洩した。これは由々しき問題である。議会もひっくり返って、全員協議会でも新後議員が最初からこの問題については加害者にも責任があるのではないかと行っておられますから、当然質問されました。冷静に考えると両方とれますからね。あくまでも子どものことを思って控訴せずとしたのですけども、漏洩するということはやはり問題がある。それで今朝、職員の皆さんには関係ないと思いますけれども、職員朝礼で今一度守秘義務と文書管理を徹底するようにお願いをしました。新聞記者からどんどん電話がかかってくるから、我々はおそらく言わないと思うのですが、前の教科書問題のときもそうなのですけども、委員さんはもう私人ではなく公人になりましたので、住所から電話番号まで公表することになります。そして新聞記者が聞いてきたらそれを言わざるを得ません。問題になってくると電話がかかってくる。洩らしてしまわないと思いますけども、言ってしまっただけで大事な問題がスクープされてしまう、これは東京その他ではものすごく狙われているそうです。ということで申し訳ないのですけども、委員の皆さんには包み隠さず加賀市の教育の現状と課題・問題点について、知ってもらわ

なければならぬと思います。委員は人事も扱いますから、これは人事上の問題でもあります。ただ、人事権は県が持っていますので、教育委員は冷静な判断の下にあそこの学校のあの先生に問題があるということがあれば、ここでも相談しなければならぬと思います。その意見も私が事務局を代表して県に行ったり、小松教育事務所に行ったりしなければならぬ。あまり細かく言ってもいけないのですが、保護者からあの先生がいると困るなど、いろんな問題が出てきた場合、一方的に聞くわけにはいきませんので、いろんな角度から聞いて、あの先生はやっぱり替えた方がいいのではないかということが起こってきます。あの人を校長にしてくれ、教頭にしてくれというくだらない問題は一切無視しますけども、子どもにとって大事な人事というものもありますので、そういう洩れてはならない情報も、ここでは話して、皆さんと一緒に最終的な決断を下していけたらと思っています。地方教育行政の資料があると思うんですけども、教育委員会の基本です。地方教育行政の組織図、これに関する法律が載っておりまして、その6ページ一番下に11条がありますね。「委員は職務上知ることができた秘密を洩らしてはならない。その職を退いた後もまた同様とする。」こういう守秘義務がありますので、これは教育委員だけではない。公務員たるものはいろんな個人情報を扱います。ここは特に要保護とか準要保護などいっぱいあります。加賀市は多いですから。当然洩らしませんが、委員の皆さんには現状を知ってもらわないといけないということで、名前は言いませんけども人数は言っています。当然11条はおわかりだと思いますが、今一度知っていただいて、特に教科書問題のときにはどこからスクープされたのか、めちゃくちゃ叩かれた経緯があります。教育行政を預かったからには、全て教育長の責任であると、だから昨日の漏洩事件についても、言うべきことは言わないといけないし、今朝も朝礼で言わせていただきました。それから全員協議会の前には資料を秘書課と財政課と議会事務局には出しました。だから北國新聞、北陸中日新聞の記事は、その資料を見て書いたとしか思えません。犯人探しをしても仕方ないですからわかりませんが、関係者には徹底してほしいと思います。言うことは言わないと混乱の元になってしまいますので、またよろしく願いいたします。それからもう一つだけ、これは口頭ですけど、掛山局長が言われたように加賀市が有する問題がいっぱいあります。当面でかい問題は子ども達をめぐる教育環境をいかに整えるかということが我々の仕事ですけど、少子化に伴う適正規模・適正配置の問題がやはりでかいんです。ずーっと前から言われていることで、全国的にもそれは問題になっていて、能登はほとんど大変苦勞して、汗を流して学校統廃合を進めているんです。加賀市は今まで一つもしていない。だけど難しい問題をいっぱい抱えていますので中々決断は難しいんですけども、そろそろ委員会としての考えを示さないといけないのではないかという時期にきています。それから今日も畑中さんの任命式の後、市長との懇談があり、市長が冒頭で「加賀市小中高とあ

りますけども 48%市外へ出て行く、こんな地域はないですよということで谷本知事にも言いました。高校を含めた教育の在り方というものを教育委員会としてどう考えるのか、考えていかないといけない。」とおっしゃいました。あとは小学校と中学校のギャップが大きすぎるという問題。これはこれから見ていただければいいと思いますが、中学校を私もどうしていいかわからないのですけども、どう接続して持っていくのか。全部じゃないですけど、雨後の筍のように一つの問題を解決するとまた出てきてエンドレスになります。教職員が疲れ果ててしまって、これ以上続けられないというような先生がいっぱい出てきている。辞めようかという先生も出てきている。そうすると一方で、大聖寺高校で教師の人材育成をしなければならないのに、生徒が集まらない。そういったいろんな負の連鎖が加賀市に今起こっておりますので、これをどう持っていくか。皆さんのお知恵をお借りしてやっていかないといけない。すぐに解決する問題ではないんですけども、一步一步解決できるようにぜひお願いいたします。ただ、いいことは、「親子の手紙」の提出数が増えていることです。こういうきっかけを多く仕掛けていきたいです。毎年ありますよね。案内は来ないです。

酒谷委員  
旭教育長

加賀市はこれを見てもらうとわかるように、今までほとんど出してなかったんです。ところが一気に出した。そしたらこれが一気に元気印になって、加賀市から入選者も出ました。平成 20 年は加賀市全体で 119 人しか出してないんです。県下全体では 1 万 2 千人超えです。平成 21 年は 56 人しか出してない。県下全体は 1 万 5 千人と増えている。平成 22 年は 63 人、県下全体は 1 万 6 千人と段々増えている。これはいけないということで、去年ですけど加賀市から 1,000 人以上出しました。これははっきり言って申し訳ないですけど、私は学校の先生の意欲指数だと思っております。出している学校はみんな元気なんです。出せない学校は弱いですよ。こういうことも出せないのかと。出せない理由を一人親が多くなったからとかそういう理由をつけているんです。保護者である世話になった人にとっているのですから、一人は関係ない。これは変な話、学力や学校の意欲に全部繋がってきますよ。だから案外先生方、校長も気付いてないですよ。だけどこれは県も見ているんです。これも出せないような地域かと加賀市はどれだけ県で言われたか。何で言わないのか、今日も北澤前教育長さんと話していたんですけども、教育委員会が学校指導課しかなかった。5 課体制になっておらず、生涯学習課も全部別の部局であった。だからこれは全然意識していない。

酒谷委員  
旭教育長

社会教育のときに毎年来ましたよ。社会教育しているものはわかるんです。今県の教育委員長さんが変わったんですけども、すぐに出せと言われました。だからこれも加賀市は一生懸命出したし、それからライオンズクラブとか連携もしっかりしました。そうすると全体として小学校も本当に元気が出てきた。そういう間接的な外堀をどう作っていくかということが大事なんです。錦城小学校なんかは、体力向上

を目指した食育推進事業をやっているから地域と一緒に学校もよくなったんです。そのように全体としてよくするようなやり方をしないといけないと思います。それがまた地域力をあげていくことになるので。あまりプレッシャーをかけてもいけないのですが、こういうこともみんな査定されるということを知らないと甘い地域になってしまう。

石橋委員

児童数とパーセントを出してもらえますか。

旭教育長

あとは校長さんなり管理職の意識がそこにあるかないかです。

梶谷課長

すみませんが時間ですので、これで第 15 回教育委員会定例会を終了させていただきます。

以上、会議の顛末を記載し、会議録を作成する。